

【目的】

震災の記憶の風化を防ぎ、未来へ伝承するため、震災の教訓の持続的で効果的な伝承・発信につなげる。

【取組内容】

1 **震災教訓伝承発信ガイドセミナーの開催**

効果的な震災教訓の伝承・発信につなげるため、震災教訓伝承・発信ガイド同士の意見交換、伝承活動内容の共有を行う場として、セミナーを開催する。

〈開催時期〉11～12月（予定）

〈開催場所〉宮古市



2 **行政職員向け研修の開催**

市町村・県職員向けに震災の教訓を伝承する研修を実施する。

3 **復興情報等の発信**

SNS等を活用し、復興の情報を中心とした三陸地域の情報や、県内震災伝承施設のイベント情報等を発信する。

4 **震災伝承施設等を活用した三陸地域の周遊促進に関する連絡会議**

東日本大震災津波伝承館をはじめ、県内各震災伝承団体との連携に向けた意見交換等を実施する。

県政150周年記念事業と連携した販路拡大支援事業

1,014千円

【目的】

11月に開催するパレードと連携した食産業イベントを開催し、管内事業者の販路拡大等による地域経済の活性化と三陸地域への誘客促進を相乗的に図る。

また、復興が進んだ三陸地域の豊かな食文化をはじめとする魅力を国内外へ発信し、交流人口・関係人口の拡大を図る。

【取組内容】

11月に開催するパレードと連携した食産業イベントの開催

県政150周年記念として「150」にちなんだ商品セレクトなどを行い、沿岸広域振興局管内の特産品の物販・飲食イベントを実施する。

〈開催時期〉11月（予定）

〈開催場所〉陸前高田市



※ イベント開催イメージ

【目的】

圏域を越えて参加者が集うイベントの開催により、男女の出会う場の拡大を図るとともに、沿岸圏域の魅力を発信・体験できるイベントを開催することで、将来的な移住、定住を図る。

【取組内容】

1 出会いイベントの実施

三陸地域の観光資源等を活用した婚活イベントを実施する。

〈対象者〉沿岸広域振興局9市町村の男性
女性は無地域制限なし

〈開催時期〉未定

〈開催場所〉釜石・宮古・大船渡地域 各1回開催予定

2 スキルアップセミナーの開催

イベントと合わせて、基本的な身だしなみや心構えを学ぶセミナーを実施する。

3 マッチング不成立者へのフォローアップの実施

イベント内で、i-サポ等のPRを実施する。

4 市町村や若者との意見交換を通じた施策の検討

様々な会議等の場を通じて、市町村や移住者、若者等から結婚支援に係る意見を伺い、次年度以降の事業検討を行う。



【目的】

新たなジビエ処理加工施設の開設や広域搬入技術の確立により、シカ肉供給量の大幅な増加が見込まれることから、さらなる販路拡大のためジビエの認知度向上を支援する。

【取組内容】

ジビエ認知度向上

首都圏等で開催されるフェア等への出展により、沿岸広域振興局管内を中心としたジビエの認知度向上と販路の拡大を図る。

〈開催時期等〉9月～2月（2回）



首都圏でのPR活動の様子



商品開発した加工品
大槌鹿の寒こうじ漬け

【目的】

移住関連事業と連携した漁業体験の実施により、体験後の定着を促進する。また、経営体の経営力強化を促進し、経営体数の維持や規模拡大を推進する。

【取組内容】

1 新規漁業就業者の確保

参加者の希望に応じたオーダーメイド型漁業体験の実施及び体験後の移住に向けた支援を行う。

〈対象者〉 漁業就業希望者

2 漁業経営体の経営力強化

(1) 法人化セミナーの開催

法人化に関する情報提供及び法人化の事例紹介

(2) 働き手確保セミナーの開催

スポットワークや水福連携等働き手を確保する手法の紹介

(3) 省力化機械の導入促進

アシストスーツの貸出、使用感の聞き取り



漁業体験の実施

【目的】

学生に建設業について理解を深めてもらい、管内建設企業への入職を促進する。

【取組内容】

1 現場見学会の開催

沿岸広域振興局管内の小・中・高等学校を対象とした工事現場等の現場見学を実施する。

〈対象者等〉 釜石地区 7校 大船渡地区 3校 宮古地区 2校 岩泉地区 1校

〈開催時期〉 調整中

2 建設業体験学習会の開催

建設業協会支部と共同で、測量・建設機械操作体験等の職業体験（建設業ふれあい事業）を実施する。

測量・建設機械による体験に加え、ICT建設機械等の最新技術によるDX体験学習会（i-Construction新技術体験学習）を実施する。

〈対象者等〉 沿岸広域管内小・中・高等学校



生徒が乗車
運転を体験



巨大な砂防施設を
間近で見学。